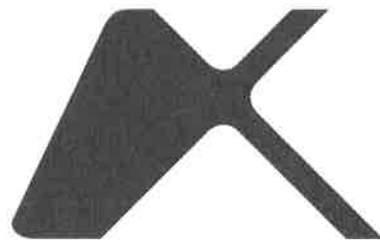


環境活動レポート



小林金属製版所

運用期間：平成 28 年 3 月～平成 28 年 5 月

発行：平成 28 年 6 月 10 日

目 次

1. 組織の概要 P2
2. 環境方針 P3
3. 環境目標と実績 P4
4. 活動計画表 P5
5. 組織体制図 P6
6. 環境活動計画の取組み結果とその評価 P7
7. 環境目標管理表 P8~9
8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果 P10
9. 代表者による全体の評価と見直し P11

組織の概要

1. 事業所及び代表者名

有限会社 小林金属製版所
代表取締役 稲村 大樹

2. 所在地

本 社：静岡県沼津市大諏訪858-1
TEL 055-925-8588
鳥谷工場：静岡県沼津市鳥谷237-7
TEL 055-968-6666

3. 環境管理責任者・担当者の氏名及び連絡先

責任者兼担当者 稲村 大樹
TEL 055-925-8588
Mail inamura@kobayashimetal.co.jp

4. 事業内容

各種銘板の製造・販売

5. 取扱品目

エッチング銘板・アルマイト銘板・シルクスクリーン銘板
インクジェット銘板・機械彫刻・カッティングシート・金属雑貨

6. 事業の規模

設 立：昭和35年7月28日
資 本 金：300万円
従 業 員：10人
売 上 高：100百万円
床 面 積：本社321.48㎡ 鳥谷工場149.05㎡
主 要 設 備：アルマイト装置 エッチング装置
カッティングマシン インクジェットプリンタ
製版プリンタ 自動彫刻機 排水処理設備
パワープレス シャーリング

7. 事業年度

7月1日～翌年6月30日

8. 認証・登録の対象範囲

全事業活動・全従業員

環境方針

基本方針

有限会社 小林金属製版所は銘板を製作する事業活動を行うにあたり、次世代により良い地球環境を引き継ぐため、事業活動及び製品が環境に与える影響を常に意識し、行動いたします。

活動方針

継続的改善活動を行い、環境汚染の予防に努めます。

- ◇二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ◇廃棄物の削減、省資源・省エネルギーを進め環境影響の低減に努めます。
- ◇水使用量の削減に努めます。
- ◇環境に関する法律・条例や自主的な取り決め事項を遵守致します。
- ◇使用する物品についてグリーン購入に努めます。
- ◇化学物質を適正に管理することに努めます。
- ◇全ての従業員がこの方針を理解し、環境意識の向上を図ります。

平成 28 年 2 月 29 日

有限会社 小林金属製版所

代表取締役 稲村 大樹

環境目標と実績

中期環境目標

目標は2014年7月～2015年6月を基準年度とした基準年度比を示す

	単位	基準年(2015年)	2016年	削減率	2017年	削減率	2018年	削減率
CO2削減	電力使用量	kwh	61771	61153	1%	60541	59935	1%
	ガソリン使用量	L	5906.91	5847.84	1%	5789.36	5731.46	1%
	軽油使用量	L	384.03	廃止	1%	廃止	廃止	1%
	液化石油ガス(LPG)	kg	248.3	245.81	1%	243.35	240.91	1%
	総排出量	kg-CO2	48205	46620	1%	46153	45691	1%
節水	水使用量	m ³	710	702	1%	694	687	1%
廃棄物	一般廃棄物の削減	トン	0.8	0.792	1%	0.784	0.776	1%
	産業廃棄物の削減	コンテナ	4回	4回		4回	3回	
グリーン購入		%	70	80%以上		85%以上		90%以上

※軽油車をガソリン車に変更したため軽油使用量は0

※平成25年 二酸化炭素排出係数:東京電力0.530kg-CO2を使用

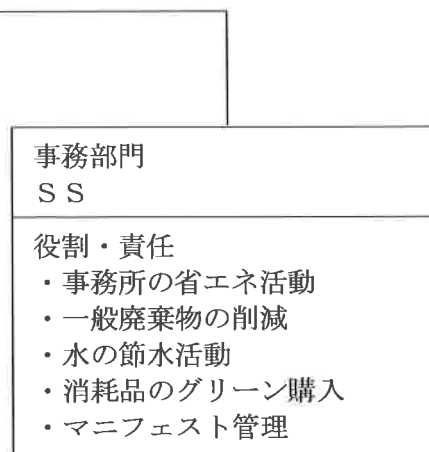
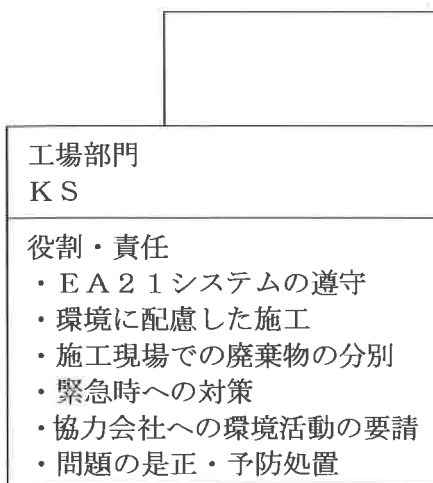
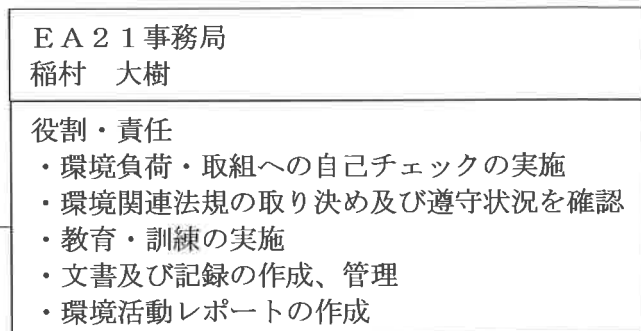
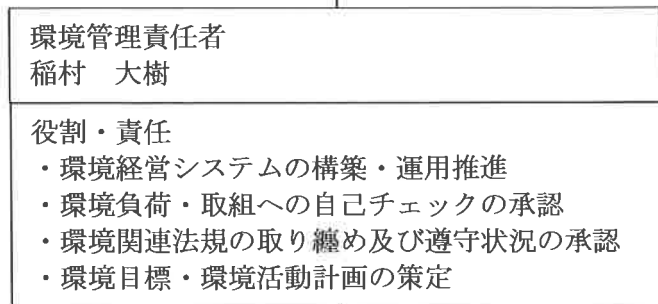
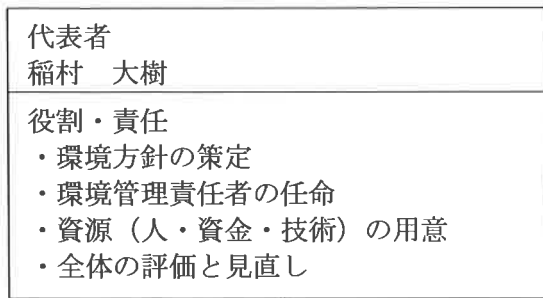
運用期間内の実績(是正処置含)

	単位	2015年3月～5月	2016年3月～5月	削減率と評価	原因	対処	
CO2削減	電力使用量	kwh	15006	14789	1.5%	節電の意識付けが出来た。	意識付けを継続していく。
	ガソリン使用量	L	1358.3	1585.74	-16.7%	出張等の機会が増加した。	エコ運転を徹底する。
	軽油使用量	L	0	0	0.0%	軽油車を処分した。	購入予定無し
	液化石油ガス(LPG)	kg	62.1	67.6	-8.8%	仕事量の増加	ガス使用削減の意識付けをする。
	総排出量	kg-CO2	16426.4	16442.3	0.0%	ほぼ変化なし	排出量を意識した活動をする。
節水	水使用量	m ³	117	118	-0.8%	ほぼ変化なし	節水意識を高める活動をする。
廃棄物	一般廃棄物の削減	トン	0.2	0.21	-5.0%	仕事量の増加	用紙の裏面使用等を更に進める。
	産業廃棄物の削減	コンテナ	2回	0回	0	廃棄物のコンパクト化ができた。	分別活動を徹底する。
グリーン購入		%	60%	74%	0	購入時の意識付けができた。	購入時の徹底を図っていく。

実施体制図

制定：平成 28 年 2 月 29 日

作成：稲村 大樹



環境活動計画の取組み結果とその評価

平成28年3月～平成28年5月

有限会社 小林金属製版所

作成日：平成28年6月6日

作成者：稲村 大樹

○：実施した △：まです出た ×：実施できていない --：計画にない

No.	環境目標	実施事項	実施部門責任者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	評価
1	電気使用量の削減 (CO2の削減) 《目標》 総電気使用量 2015年度比1%削減	①空調管理の徹底 ②電気消灯の徹底 ③フィルターの清掃 ④節電等の表示	現場 K.S 事務所 S.S									○	○	△		フィルターの清掃は記録するよう徹底する。 空調の温度設定の徹底を図る。
2	燃料使用量の削減 (CO2の削減) 営業車燃料 2015年度比1%削減	①エコドライブ徹底 ②アイドリングストップ ③計画的な移動(相乗り等) ④車内での控えめな空調管理 ⑤月1回の車両点検 ⑥不要な荷物を車内に置かない	代表 現場 K.S									△	○	○		環境意識をより高めていく。 空調管理の徹底を図る。
3	廃棄物の削減 《目標》 産業廃棄物 ・廃棄物再生利用率の向上 混載BOX 3年間で1BOX削減 一般廃棄物 ・単焼焼却の削減 2015年度比1%削減	①混載BOXの中身を分別し 混載を削減する ②コピー用紙は両面使用 ③作業ミスによる廃棄の削減	現場 K.S 事務所 S.S									△	△	△		混載BOXの分別の対応を早急に行う。 コピー紙の裏面を有効活用するよう徹底する。
4	水資源利用量の削減 《目標》 2015年度比1%削減	①水道の蛇口をこまめに止める ②水道の元栓を絞る ③トイレットタンクにペットボトルを入れる	現場 K.S 事務所 S.S									○	○	○		節水意識は高いので、このまま継続していく。 トイレットタンクの対応を行う。
5	グリーン購入促進 《目標》 80%目標	①ラベルによって調達する	事務所 S.S									△	△	△		周知徹底を図る。

上記内容を継続して取り組みます。

環境目標管理表

平成26年7月～平成27年6月を基準値とする

平成 28年 3月～平成 28年 5月

有限会社 小林金属製版所

環境目標	基準値	目標値	月別進捗管理														
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月			
1 電気 使用量の削減	61771 kwh	61153 kwh (1%削減)	前年実績	4,942	5,353	5,558	4,287	3,943	6,231	5,275	6,546	5,920	5,683	3,403	4,630		
			目標	5,097	5,096	5,096	5,096	5,096	5,096	5,096	5,096	5,096	5,096	5,096	5,096	5,096	
			実績														
			累計目標														
			累計実績														
2 ガソリン 使用量の削減	5906.91 L	5847.84 L (1%削減)	前年実績	558.62	520.89	476.70	426.91	560.15	495.62	519.00	529.76	441.79	446.48	470.03	460.96		
			目標	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	487.32	
			実績														
			累計目標														
			累計実績														
3 軽油 使用量の削減	384.03 L	380.18 L (1%削減)	前年実績	47.01	145.01	93.01	99.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			目標	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			実績														
			累計目標														
			累計実績														
4 液化石油ガス 使用量の削減	248.3 kg	245.81 kg (1%削減)	前年実績	19.9	14.4	20.2	16.2	19.1	18.4	22.5	29.9	26.6	17.1	18.4	25.6		
			目標	20.4	20.4	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	20.5	
			実績														
			累計目標														
			累計実績														
			前年比 1.5%減														
			前年比 16.7%増														
			軽由使用無し														
			前年比 8.8%増														

環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果

評価 〇 法規制に適合
 評価 x 法規制からの逸脱

登録日:平成28年 6月 1日
 遵守確認日:平成28年 6月 1日

有限会社 小林金属製版所

法改正の有無の確認及び遵守状況確認を
 毎年5月に実施する。

該当する設備・施設・活動内容	法規制名	条文	主要な法規制	法基準値	当社の対応	確認者	評価
◆法規制及びその他の要求事項 該当する設備・施設・活動内容 一般廃棄物の排出 (不要のA用紙・紙くず・段ボール・廃プラ等) 条例に基づき回収・分別での排出	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・沼津市条例	第12条	①廃棄物の減量化 ②廃棄物の適正処理の確保 ③地方公共団体の施策への協力 ④回収又は処分は定められた業者に委託	・分別の徹底及び廃棄物削減活動の実施 ・業者による定期的な回収	〇	稲村	〇
産業廃棄物の排出 (金属屑・廃プラ・廃電線・段ボール・木屑・ 発泡スチロール・塩ビ管・コンクリート塊等)	・廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第12条 3項	①廃棄物の減量化 ②産業廃棄物の適正処理の確保 ③産業廃棄物の保管の遵守 ④廃棄物の飛散・流出・地下水の防止 ⑤産業廃棄物の処理委託基準の遵守 ⑥産業廃棄物の委託契約書の記載事項の遵守 ⑦産業廃棄物管理表の管理義務 ⑧マニフェストの交付の報告	・保管場所表示 60×60以上(種類・責任者) ・委託業者の許可証明書 ・廃棄物の種類・数量・運搬の最終目的地 ・最終処分先の所在地、処分方法処理能力 ・契約の有効期間・支払額等 ・管理表交付日から8日及びD票は90日以内 E票は180日以内に受領する ・毎年6月30日迄に過去1年分を如事に報告	〇	稲村	〇
指定物質の使用	・静岡県産業廃棄物の適正な 処理に関する条例	第8条 第10条 第11条	①産業廃棄物管理責任者の設置 ②処理委託業者への委託確認及び記録の保管 ③不適正な処理を発見した時は必要な処理を 講ずるとともに知事に報告	①管理責任者設置確認 ・実地確認記録の確認	〇		〇
電力・ガソリン・灯油の使用	・PRTR法 (化管法・H12.3.30施行)	第1条 関係	①第1種指定化学物質を年間0.5トン以上取扱う業者 ②第1種指定化学物質の排出量・移動量の把握 ③毎年度、前年度の排出量・移動量の届出 ④SDSの提供	・SDS確認 ・購入量、保管量、返却量の管理	〇		〇
電カ・ガソリン・灯油の使用	・省エネ法(H21.4.1改正施行)	第7条2項 3項、4項 第8条13項	・エネルギー使用の合理化努力義務	・E/A21活動で取り組み	〇		〇
社用車の廃棄	・自動車リサイクル法	第75条	・使用済となった自動車は業者渡し	・引き取り業者に依頼	〇		〇
テレビ・パソコン・冷蔵庫	・家電リサイクル法 (H13.4.1施行)	施工令第1条 法第6条	・排出する場合、業者に適切な引渡し	・引き取り業者に依頼	〇		〇
空調機の使用	フロン排出抑制法 H27.4.1施行	第16条 第3条 第14条の3	・河川に汚水をながさない	・3ヶ月に1回簡易点検をする ・H27.5.27実施	〇		〇
水質処理設備の使用	水質汚濁防止法	第3条	・河川に汚水をながさない	・専門業者へ定期的に依頼 ・H28.1.29実施、異常なし	〇		〇
指定物質の使用	毒物取締法	第11条	・盗難、紛失防止措置・「劇物」等の表示	・保管場所の管理	〇		〇
認定品の購入努力	グリーン購入法	第5条	・認定品の購入努力	・積極的な購入に努める	〇		〇
油類、薬品、廃棄物の適正管理	消防法		・油類、薬品などの危険物該当物質の適正管理	・保管場所、購入/使用量の管理	〇		〇
浄化槽の管理	浄化槽法		・定期的点検、清掃、法定検査	・定期的点検、清掃、法定検査	〇		〇
特定化学物質等健康診断報告書の提出	労働安全衛生法	第100条1項	特定化学物質等健康診断報告書の提出	・6ヶ月以内ごとに1回	〇		〇

関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

承認者: 稲村 大樹

見直し日時	平成 28年 6月 10日(金曜日) 13時～	場所	2F社長室
参加者	代表者		
見直しに必要な情報	説明資料等	社長コメント	
環境関連法規制のまとめ/遵守状況	関係法令等の登録一覧表 契約書・許可証	法規制の遵守は今後も 確実に実施すること。 また、未実施の項目は早急 に対応し、適切に行っていくこと。	
環境目標の達成度	環境目標管理表 環境活動計画実施状況確認表	周知徹底し、目標達成出来るよう 取り組むこと。	
環境活動計画の実施状況	環境目標管理表 活動記録	電気、水、廃棄物等、 取り組みやすい項目については 早急に対応していくこと。	
利害関係者からの苦情・要望結果	コミュニケーション記録対策書	苦情等があった時には、 すぐに報告すること。	
問題点の是正・予防処置の状況	是正/予防処置報告書	原因と対策について、全社員 で共有すること。	
前年度指摘事項の取組結果報告			
変更の必要 性の有無	①環境方針	変更の必要なし	
	②環境目標	変更の必要なし	
	③環境活動計画	継続	
	④環境経営システム	全従業員に対し環境意識が高まるよう に取り組みを行い、現状把握と 改善意識を常に持つ行動を促し、 早期定着できるよう全員が共通意識 の下、活動できる体制を構築する。	

緊急事態の想定・対応手順及び訓練結果

承認	作成
稲村	稲村

緊急事態の想定	製造現場1Fでの火事発生
緊急事態への対応手順	<p>①「火事発生」と大声で周囲に知らせる。</p> <p>②消火器を持って現場に駆けつける。</p> <p>③初期消火が可能であれば、消火活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防署へ通報を行う。 ・避難指示を出し、全員の安否確認を行う。
準備品	消火器
訓練実施日	2016/7/28
実施場所	製造現場1F
参加者	8名
訓練等の結果	<p>消火器の設置場所確認</p> <p>対応手順の確認・各自の担当確認</p>
訓練の効果確認	<p>消火器の設置場所を把握することができた。</p> <p>避難時の対応を徹底できた。</p>
手順や準備品などの変更	無し
変更の内容	

《活動実績》



環境方針の掲示



エアコン設定表示



節電表示



節水表示



金属屑の分別

《自社製品》



銘板は、製造日、注意喚起、操作説明など、機械における重要な情報をもっともシンプルで確実に伝えるための情報伝達手段です。金属銘板は、長時間使用される機械にも耐えることを目的に作られています。弊社は、色あせることなく、長期に使われる張り替えの少ない銘板を製作することにより、環境への負荷を低減していきます。